

平成 26 年度 第 3 回選手強化委員会

平成 26 年 9 月 8 日（月）16：00 から岩手県体育協会会館で開催しました。

1 開会

2 挨拶

3 報告事項

- (1) 第 71 回国民体育大会強化委員会経過概要
- (2) 平成 26 年度全国高等学校総合体育大会夏季大会の結果について
- (3) 平成 26 年度全国中学校体育大会夏季大会の結果について
- (4) 平成 26 年度第 41 回東北総合体育大会の結果について
- (5) 国民体育大会選手強化事業費の追加配分について

4 協議事項

- (1) 第 69 回国民体育大会岩手県選手団の編成について
- (2) 競技団体分析－東北総体通過状況一覧－
- (3) その他

5 その他

6 閉会

冒頭の川口仁志（公財）岩手県体育協会副会長兼理事長挨拶では、8 月に本県で開催された日・韓・中ジュニア交流競技会岩手大会が関係者の協力を得て成功裡に終了し、韓国・中国・日本体育協会からは本県の競技運営や施設などについて高い評価を得たとの報告があった。

報告事項では、今年度の東北総合体育大会の結果が報告された。37 競技を実施し、ブロック大会終了後の国体出場競技種別数をみると、宮城について第 2 位ということで健闘しており、強化の成果が上がっているとの報告があった。

協議事項では、10 月 12 日に開会する「長崎がんばらんば国体 2014」の岩手県選手団の編成が提案され、選手・監督 総勢 494 名の選手団の派遣が承認された。また東北総合体育大会の結果を踏まえ、事務局から競技団体分析について現状の報告と今後の対策が提案された。委員の方々からは、「今後も強力に各競技団体に強化促進についてサポートして欲しい。」という内容の意見を頂いた。